

屋根用高日射反射率(遮熱)塗料用下塗材

アレスクールプライマー

 系 統 弱溶剤2液変性エポキシ樹脂
 屋根用高日射反射率(遮熱)さび止め塗料

適用規格 —

ホルムアルデヒド放散等級 —

特 長

- 1) アレスクールシリーズの専用プライマーで、上塗りを透過した赤外線を効率よく反射します。
- 2) アレスクールの赤外線反射システム「Wブロック効果」を有しています。
- 3) アレスクールメタルプライマーに比べ、高い反射性を有します。
- 4) 弱溶剤タイプなので、臭気がマイルドで作業環境に優しいです。
- 5) 下地の適用幅が広いです(鉄、トタン、新生瓦など)。
- 6) 旧塗膜適性の幅が広いです。
- 7) 防食性に優れています。

塗装条件

塗装方法	金属系素材 はけ ローラー	金属系素材 エアレス スプレー	窯業系素材 はけ ローラー	窯業系素材 エアレス スプレー
希 釈 率	0~5%	0~10%	0~5%	0~10%
標準所要量 (kg/m ² /回)	0.21	0.27	0.35	0.27
希 釈 剤	塗料用シンナーA			

注) 標準所要量は、個々の条件によって異なります。
 標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。
 平均膜厚(参考値)は標準所要量(kg/m²/回)に対する数値です。

塗装間隔

項 目		温 度	
		23℃	5℃
標準塗装間隔	最 短	8時間	24時間
	最 長	7日	7日
使 用 時 限		7時間	12時間

塗料性状

項 目	内 容
1 荷 姿	16kgセット ベース: 15.2kg 硬化剤: 0.8kg
2 混 合 比	ベース/硬化剤=19 / 1
3 色	白
4 つ や	—
5 仕 上 げ 感	平滑
6 塗 料 比 重	1.33
7 溶 剤 比 重	0.79
8 加 熱 残 分	69%
9 劇 物 表 示 (品名・含有量)	—
10 労 働 法 上 の 表 示 有 害 物	ベース: キシレン 硬化剤: —
11 有 機 則 / 特 化 則	ベース: 第3種有機溶剤等 硬化剤: 第3種有機溶剤等
12 消 防 法 に よ る 危 険 物 区 分	ベース: 指定可燃物 可燃性液体類 硬化剤: 第4類 第2石油類(非水溶性)
13 硬 化 剤 の 成 分 に よ る 区 分	ケチミン

 主な適用素材
 カラートタン、金属折板、新生瓦、波形スレートなど

 主な適用下塗塗料
 ヤネ強化プライマーEPO(窯業系屋根材)

主な適用中塗塗料

 主な適用上塗塗料
 アレスクールシリーズ

使用上の注意事項

- 1) 標準所要量は一般的な条件での塗装作業に必要な塗料の参考値です。従って被塗物の形状や塗装条件などによって増減します。
- 2) 沈降している場合がありますので使用前に十分攪拌してください。
- 3) 所定の混合比で十分攪拌して使用下さい。また混合した塗料は、可使用時間内に使用して下地調整が不十分な場合には、塗膜の膨れ・割れ・剥がれの原因となったり、光沢が出ないもしくは艶むらが発生する等、仕上がり不良が生じる恐れがあります。ホコリ・油・樹脂液などは塗膜前に溶剤用布巾等で十分に除去し、乾燥した清潔な面にてください。
- 4) 特風時の折れ曲り部はホコリ・砂塵が溜まりやすいので、入念な清掃を行ってください。
- 5) 特風時や降雨の予想される日の塗装、および気温が5℃以下、湿度85%以上となる日の塗装は避けください。
- 6) 他の塗料との混合は絶対に避けてください。
- 7) 希釈は必ず塗料用シンナーAを使用してください。
- 8) 希釈が保持する塗膜性能を十分に発揮させるために、所定の塗り回数と膜厚確保による施工を行ってください。希釈し塗り回数が増える場合は、希釈率を調整して必ず2回塗、標準塗装仕様(アレスクールシリーズ)を確保してください。
- 9) 塗膜が乾燥過程で水(降雨など)の作用を受けると、上塗りとの付着阻害が発生する事があります。この場合は、軽くサドナーの作用などで表面を研磨して表層目化物を除去してください。
- 10) その他、塗料の取扱について一般的な注意事項の詳細についてはSDS(安全データシート)を参照して下さい。

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

※本製品説明書の内容には、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。